

26th, August 2016

岩永善信 in 南京

レポート：日本アジアギター教育協会事務局

日本アジアギター教育協会の活動の一環として、2016年8月26日、中国の南京ポリグラウンドシアターにて、第1回のコンサートが開催された。協会の理念でもある「アジアにおけるギター教育の普及」の第一歩としての活動である。会場は斬新なデザインが施された近代的なホールで、満席となった500席収容の会場でコンサートは行なわれた。

南京国際ユースギターオーケストラの指導者であり、コンサート主催者の鄭齊放は、今回、日本アジアギター教育協会の会長・岩永善信を招き、岩永のソロ・コンサートと岩永&南京国際ユースギターオーケストラとのコラボレーションを企画。

◎コンサートの概要

第1部はソロ、二重奏、三重奏、四重奏、アンサンブルなど、バラエティに富んだプログラムが生まれ、第2部は岩永のソロ・コンサートが行なわれ満場の大喝采を浴びた。プログラムは下記のとおり。

アントレーとシャコンヌ (ヴァイス) / ブエノスアイレスの夏 (ピアソラ) / 5月の歌、東洋の行進曲、みなし子、スペイン舞曲第6番「ホタ」(グラナドス) / 故郷(呂昭炫) / ソルヴェイグの歌 (グリーグ) / 星の世界 (コンヴァース〜武満 徹) / 7つの小品よりレント Op.11-1、無伴奏チェロ・ソナタ Op.8 より第3楽章(コダーイ〜岩永善信)

第2部終了後、鄭齊放に対して、日本アジアギター教育協会の南京支部長としての認定書の授与式も行なわれた。彼は南京ギター界の教育促進に積極的な役割を果たしており、今後の発展にも大いに貢献してくれるものと期待されている。岩永も、「鄭さんは指導者としての確かな資質が感じられ、ユースギターオーケストラのメン

バーも個々の能力に優れ、今後さらに成長し発展していくことを確信している」と感想を述べた。

授与式後には、岩永と南京国際ユースギターオーケストラにより〈チャルダッシュ〉(モンティ)が演奏された。コンサート後、写真を撮ったり花束を贈ったりと、大勢の観客がステージに押し寄せていた。(文中敬称略)

鄭齊放によるコメント

岩永善信氏はロマンティックな感性を備えたギターの巨匠である。岩永さんの演奏は南京の聴衆にも最大級の賛辞をもって迎えられ、再演を熱望された。

今回の南京市でのコンサートを手始めに、毎年、岩永善信(会長)・洪再添(副会長)・鄭齊放(南京支部長)を中心としてコンサート、講習会、検定等をしていくこととなり、2017年もまた、南京、広州での開催が予定されている。



ソロ・コンサート



鄭齊放への南京支部長認定書の授与式



岩永善信と南京国際ユースギターオーケストラによる演奏